

牛久：学校周辺に見る自然

第10号 ひたち野みずべ公園（ひたち野うしく小）

2019年5月25日発行

＜ 初夏のみずべ公園 ～①アキグミに来る虫たち ＞

初夏^{しょか}をむかえ、気温もぐんと上がってきましたね。5月9日にひたち野うしく小3年生と、16日には1年生とみずべ公園^{みずべ}に観察^{かんさつ}に出かけました。1年生との観察^{かんさつ}は、9年前の中根小以来かな、とても楽しかったです。生きものたちのいろいろな姿^{すがた}、ふしぎを発見^{はつしん}する楽しさを忘れ^{わす}れないで下さい。今回はそれらの中から、アキグミとそこに来^きていた虫たちを紹介^{しょうかい}します。



甘い^{あま}香^{かお}りを漂^{ただよ}わせるアキグミ。みつや花粉^{かふん}を求めていろいろな虫^{むし}たちが集まり、それらを食べる虫^{むし}も来る。

全体が白^{しろ}っぽく見える木^きがありました。ほのかに甘い香^{かお}りも漂^{ただよ}ってきます。秋^{あき}に赤^{あか}い実^{じゆく}が熟^{じやく}す、アキグミです。牛久二小にはなかまのナツグミがありますが、花^{はな}の柄^えの長さ^{ながさ}などで見分^{みわ}けられます。香^{かお}りに誘^{さそ}われてか、チョウやハチなどたくさん^{たくさん}の虫^{むし}たちが集ま^あっていました。



アキグミのみつを吸^すうナミアゲハ(左上)、アオスジアゲハ(右上)、クロアゲハ(左下)、セイヨウミツバチ(右下)。



はえだには、アブラムシを食べにナミテントウの幼虫ようちゆうもいました。

ここまでが5月5日の写真で次からが16日の写真ですが、何か気がつきませんか？ そう、花の色が1週間たって黄色っぽくなりましたね。アキグミの花の色は、白からあわ淡い黄色に変わっていくのです。

アブラムシを食べに来たナミテントウの幼虫ようちゆう。



アキグミのみつを吸うセイヨウミツバチ(左上)とキンケハラナガツチバチ(右上)。
花粉かふんをなめるコアオハナムグリ(左下)。 アブラムシを食べるナミテントウの幼虫ようちゆう(右下)。

みつが少なくなるのか、味が変わるのか、虫の種類しゆるいも変わっていくようにみえます。チョウは少なくなり、16日にもアオスジアゲハが1頭来ましたが、すぐに飛んで行ってしまいました。逆に、花粉かふんやみつをなめるコアオハナムグリをたくさん見かけるようになりました。セイヨウミツバチやキンケハラナガツチバチなど、みつを吸うハチは16日にもたくさんいましたね。アブラムシを食べるナミテントウやその幼虫、さなぎも、どちらの日にも見つかりました。

今回は見つかりませんが、これらの虫たちをつかまえに、スズメバチやカマキリなどが来ていることも多いです。また、校庭にもチョウやミツバチがよく来る花がありますね。季節ごとに、何時ころに、どんな花にどんな虫が来るか、観察し調べてみるのもおもしろいですよ。何か発見したら、教えて下さいね。

【理科支援員：宮内】